

I 平成25年度事業報告

公益財団法人千葉市国際交流協会

第1 事業の概要

平成25年度は、多文化共生マスタープラン3年目として、プランに掲げる外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、これまで以上に外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援及び情報収集提供などの事業を実施した。

多文化理解推進事業では、交流サロンや姉妹都市との青少年交流等を通じて多文化共生社会推進の啓発の拡充を図った。

外国人市民支援事業では、マンツーマン形式による日本語学習支援に加え、日本語が全く話せない外国人向けにグループ形式の学習支援を試行的に実施した。また、生活相談や「外国人のための防災教室」等を実施した。

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、日本語学習支援ボランティア向けの研修や「やさしい日本語ガイダンス」を実施したほか、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体を支援した。

情報収集・提供事業では、フェイスブック、ブログを活用し、台風や降雪時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として提供するなど、情報の提供頻度・量の充実を図った。

受託事業として、千葉市から「千葉市国際交流プラザ」の運営業務及び多言語防災ガイド製作業務を受託したほか、財団法人自治体国際化協会から地域の多文化共生実態把握業務を受託し実施した。

第2 実施事業の内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、多文化理解の推進を図った。各行事の開催に合わせ、平成26年2月から実施した家庭ごみ手数料徴収制度の導入に向け、外国人市民へ周知を行った。

事業名	開催日	テーマ 会場	参加者 ()内外国人
親子三代夏祭り	8月18日	親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 千葉銀座通り周辺	113人 (49人)
日本語スピーチ大会	10月12日	千葉市国際交流協会及び地域の日本語教室で日本語を学習している外国人10ヶ国12人（アメリカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パプアニューギニア、ベトナム、ホンジュラス、モロッコ、ロシア）がその成果を披露した。 国際交流プラザ	152人 (50人)

外国人と日本人の交流会	8月14日	外国人と日本人の交流会 ノースバンクーバー市、モントルー市からの来葉者との交流、三味線・日本舞踊・能の披露及び体験、家庭ごみの手数料徴収制度の周知等 国際交流プラザ	154人 (61人)
	12月8日	留学生交流員による「異文化交流サロン」 千葉県外国人留学生交流員4名(千葉大学(ベトナム)、敬愛大学(中国)、東京情報大学(韓国)、神田外語大学(韓国))による出身地の文化紹介等 国際交流プラザ	87人 (25人)
	1月21日	中国からの修学旅行受入れ 中国からの小・中学生の修学旅行に市内の小・中学校・高校訪問を組み入れ、児童・生徒との交流を図った。 市立緑町小学校・市立稲毛高等学校	718人 (43人)
	1月23日	外国人と日本人の交流会 ガマの油売り・南京玉すだれの披露・体験、外国人のための防災教室、家庭ごみの手数料徴収制度の周知、ネパール映画の上映等 国際交流プラザ	71人 (17人)
	2月11日	餃子づくり交流会 中国人の集住地区で、千葉市役所や自治会と協働し、中国人・日本人住民のコミュニケーションを図ることを目的として実施した。一緒に作った餃子を食した後は、ごみの分別についての説明や、琴・日本舞踊等の文化紹介を行った。 高浜公民館	149人 (38人)
文化紹介	5月21日	ライス大学「日本文化体験」 日本政府による「北米地域との青少年交流 KAKEHASHI Project」の一環で千葉市を訪問した姉妹都市ヒューストン市のライス大学の一行に対し、日本語学習支援事業の紹介及び三味線の披露・体験と日本の踊りの体験を行った。 国際交流プラザ	47人 (28人)
	5月29日	Let's Try! ジャパンカルチャー! 団体賛助会員である「ロータリークラブ千葉」との協働により、日本語学習の外国人を紹介し、浴衣体験、日本建築や庭園の紹介、茶道体験を実施した。 参加者出身地数:7(アメリカ、インド、韓国、台湾、中国、ネパール、フィリピン) 県立幕張海浜公園内 見浜園	24人 (10人)
	7月1日 ~6日	七夕の文化紹介及び飾り付け 日本古来の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と共に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	73人 ※短冊数
	9月11日	開こう!世界のとびら 世界各国と日本の文化の違いを学習している小学5年生を対象に各地の文化紹介等を行った。 参加者出身地数:4(アメリカ、中国、ネパール、フィリピン) 市立有吉小学校	131人 (4人)

	9月18日	英語で交流会 英語を学習している小学6年生を対象に英語にて各地の文化紹介等を行った。 参加者出身地数:5(アメリカ、韓国、中国、チリ、ネパール) 市立都賀小学校	196人 (8人)
	11月8日	教えてもらおう。外国の暮らし。 小学6年生を対象に外国の方とふれあい、外国への興味を広げるとともに、外国の生活や文化紹介等を行った。 参加者出身地数:2(ネパール、フィリピン) 市立長作小学校	57人 (2人)
	11月18日	英語で交流会 小学4年生から6年生で構成している「英語クラブ(正規授業)」に参加し、児童たちの既習内容を活かし、英語により外国人と交流を図った。 参加者出身地数:1(アメリカ) 市立さつきが丘東小学校	15人 (1人)
	11月28日	クリスマスのお話し会in English 参加者と共にクリスマスツリー等の飾り付けを行い、英語によるお話、クリスマスソングの合唱を行った。 国際交流プラザ	26人 (15人)
	2月3日	節分の紹介 日本文化・習慣である「節分行事」の紹介と実演をし、日本文化理解を深めるとともに、日本人との交流も図った。 国際交流プラザ	54人 (22人)
	3月11日 3月19日	国際理解教育授業 Let's Talk! 英語を学習している小学5年生を対象に英語を用いてのコミュニケーションや各地の文化紹介等を行った。 参加者出身地数:6(アメリカ、カナダ、韓国、スリランカ、中国、フィリピン) 市立小中台小学校	165人 (9人)

イ 青少年交流(市補助)

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れに際しては、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるようなプログラムを組むことで市民の多文化理解の推進を図った。

内 容	期 間	参 加 者
ノースバンクーバー市 (44回目)	(受入) 8月7日～21日 「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加、箱根方面へ自然体験学習、市長表敬訪問等	高校生4人 引率者1人

	(派遣) 8月5日～20日 市長表敬訪問、市内見学、お別れパーティでの日本文化の紹介、千葉市長との Skype を利用した滞在報告等 研究レポートテーマ 「カナダの娯楽とエンターテインメント」 「日本とカナダの小学校教育」 「日本とカナダの医療の違い」 「バンクーバーの歴史」 「ノースバンクーバー市の経済、ESL 教育について」	高校生 4 人 引率者 1 人
モントルー市 (16 回目)	(受入) 8月13日～22日 「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加、市長表敬訪問、前年度派遣生と共に浅草寺・江戸東京博物館等の見学等	青少年 5 人 引率者 1 人
ヒューストン市 (31 回目)	(派遣) 8月16日～30日 現地中学校での授業参加、NASA・JAXA 見学、日本総領事館での日本文化の紹介、千葉市長との Skype 利用の滞在報告等 研究レポートテーマ 「アメリカ人と日本人の将来進路の意識の相違」 「千葉市と Houston 市の障害福祉サービスの違い」 「愛国心、地元愛の違い」 「実験！通じるか？ “空耳英語”」 「ヒューストン市の教育」	中学生 4 人 引率者 1 人

ウ 語学サロン

国際理解の向上とボランティア活動のスキルアップを図るため、ボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

講座名	期間	受講時間	講師	受講者
英語サロン (前期・中上級)	5月16日～7月18日	2時間×10日	協会職員 ジーナ リベラ	23人
英語サロン (後期①・初級)	10月10日～12月19日	2時間×10日	協会職員 ジーナ リベラ	13人
英語サロン (後期②・初級)	1月15日～3月19日	2時間×10日	協会職員 ジーナ リベラ	12人
中国語サロン (初級)	6月4日～7月2日	1.5時間×5日	協会職員 福井 美幸	13人
中国語サロン (中上級)	11月8日～12月6日	1.5時間×5日	協会職員 葉 青	6人

エ 地域連携コーディネーター事業

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい地域社会を築いていくために、行政、保育所、ボランティア、自治会等との間の連携をコーディネーターし、地域の多文化共生実態把握業務事業へつなげた。

内容	場所
中国人集住地域での市保育所職員への研修 (3回) (中国における習慣や文化、保育所で役立つ中国語等の紹介)	美浜区内保育所

美浜区保健福祉センター支援事業（毎月1回） 中国人が集住する美浜区での保健福祉センターにおける通訳、翻訳業務（子どもの健康診断に関する通訳、保健師の家庭訪問や予防接種に関する資料の翻訳など）	美浜区 保健福祉センター
市営住宅入居説明会での通訳及び千葉市における制度の説明（4回） 平成26年2月から実施する「家庭ごみ手数料徴収制度」やゴミの捨て方のルール等を説明	千葉市 住宅供給公社
千葉大学中国人留学生友の会の「千葉地区清掃活動」に参加（7月28日） 活動の実態調査及び当協会の活動、平成26年2月から実施する「家庭ごみ手数料徴収制度」の説明及び災害時の対応方法について説明	稲毛海浜公園
外国人法律相談（協会事業）における通訳	国際交流プラザ
千葉市生活情報誌（※）中国語版の編集（毎月1回） ※「ちば市政だより」の翻訳版	国際交流プラザ

オ 多文化共生推進啓発事業

市及び関係団体等主催のイベントにおいて、各事業への協働をしつつ、広く多文化共生社会推進事業の説明や国際交流ボランティア制度や活動紹介をすることで、賛助会員やボランティアの拡充へつながるよう協会事業に対する理解促進を図った。

イベント名称	開催日	場所	内容
双葉外語学校入学式	4月8日	市民会館	市内の日本語学校の入学式に参加し、協会の活動等についてのPRを行った。
生涯学習指導者 基礎研修	5月18日	生涯学習センター	「ボランティアはじめたい！千葉市のボランティア関連施設活用術—ちばぼら4施設（※）合同説明会」※千葉市生涯学習センター・千葉市ボランティアセンター・ちば市民活力創造プラザ・千葉市国際交流協会
ビバ・パラグアイ フェスティバル千葉	5月19日	中央公園	姉妹都市アスンシオン市が所在するパラグアイ共和国大使館主催のイベントに参加し、市民の姉妹都市に対する関心を喚起し、理解を深めることに協力した。また、同国を中心としたスペイン語圏の出身者を中心に、協会事業のPRを行った。
千葉中央警察署による 生活指導	5月24日 7月24日	中央国際文化学院	市内の日本語学校で行われた警察による生活指導（交通ルール等）に通訳（中国語：協会職員、ベトナム語：ボランティア）をコーディネートしたほか、協会の活動等についてのPRを行った。
ロータリークラブ千葉総会	6月10日	三井ガーデンホテル千葉	5月29日にロータリークラブ千葉との協働で実施した「Let's Try! ジャパンカルチャー!」の報告に併せて協会事業のPR及び賛助会員制度の周知を行った。
稲毛区役所出張窓口	6月13日	敬愛大学稲毛キャンパス	転入・転出・在留手続き、国民健康保険、国民年金（学生納付特例制度）などの各種情報提供及び協会事業紹介
ごみの捨て方説明会	6月27日	中央国際文化学院	市内の日本語学校に在籍する外国人市民及び市内の県営住宅に入居する外国人市民に対し、千葉市廃棄物対策課と協働し平成26年2月から実施の「家庭ごみ手数料徴収制度」を中心にゴミの捨て方のルールを説明した。
	11月14日	双葉外語学校	
	11月17日	高浜第三県営自治会集会所	

外国人市民懇談会	6月29日	国際交流プラザ	千葉市国際交流課と協働し、「外国人にごみ出しルール・有料化を知ってもらう効果的な周知方法とは」をテーマとして、平成26年2月から実施される「家庭ごみ手数料徴収制度」の効果的な周知方法等について意見交換を行った。
	12月8日	国際交流プラザ	千葉市国際交流課と協働し、「外国人観光客を千葉市に呼び込むための工夫とは」をテーマとして、外国人観光客を千葉市に呼び込むための方法について意見交換を行った。
美浜区民フェスティバル	10月6日	稲毛海浜公園	生活相談：38件（うち行政書士による無料相談15件） 相談者出身地数：10（アメリカ、イギリス、インド、オーストラリア、韓国、タイ、中国、日本、ポーランド、モロッコ） ボランティア募集、協会PR資料配布（350部）、防災啓発用備蓄食糧の配布（390食）
中央国際文化学院 入学式	10月10日	市民会館	市内の日本語学校の入学式に参加し、協会の活動等についてのPRを行った。
敬愛大学ランチタイム レクチャー	10月31日	敬愛大学稲毛 キャンパス	千葉市の「多文化共生」の取り組み 協会の活動の紹介、ボランティア募集、千葉市における外国人住民の現状、地域連携コーディネーターの活動の紹介等
ちば市民活力創造フェア	11月 16・17日	きぼーる	ボランティアの活動紹介や協会事業の紹介 用パネル展示、ボランティア及び賛助会員 募集のチラシの配布等
ボランティアフェア2013	11月22日 ～12月1日	生涯学習 センター	ボランティアの活動紹介や協会事業の紹介 用パネル展示、ボランティア及び賛助会員 募集のチラシの配布等
中央国際文化学院 卒業式	3月13日	市民会館	市内の日本語学校の卒業式に参加し、卒業後の進路等の調査をしたほか、協会の活動等についてのPRを行った。

カ 職場体験受入

学生に対し、就業体験の場を提供することにより国際交流・国際協力事業を理解してもらうことで多文化共生社会実現に向けて理解推進を図った。

期 間	対 象	内 容
8月16～18日	昭和女子大学3年生1人 立教大学3年生1人	交流サロン（親子三代夏祭り）業務及び相談窓口補助 （千葉市におけるインターンシップの一環として実施）
6月27・28日	市立真砂中学校 2年生2人	国際交流プラザでの業務補助 外国人へのインタビューのレポート作成等
11月6・7日	市立稲毛中学校 2年生1人	国際交流プラザでの業務補助 外国人へのインタビューのレポート作成等

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

国際交流プラザにおいて、ボランティアとのマンツーマン形式等による外国人市民への日本語学習を実施した。（件数は、ボランティアコーディネートの欄に記載。）

新規の取り組みとして、日本語が全く話せない外国人に対しグループ形式の学習支援を試行的に実施した。（学習者の人数：16人）

イ 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用した電話通訳サービス等の協力を行った。(三者通話件数：28件)

内 容	言 語	方 法	備 考
外国人市民からの相談	英語、中国語、韓国語、スペイン語、フィリピン語、ポルトガル語	協会窓口、電話、Eメール等	件数については、国際交流プラザ(受託事業)の欄に記載

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

内 容	回 数	件 数	会 場
日常生活に関する法律相談	毎月1回(うち4回は夜間)	21件	国際交流プラザ

エ 留学生学習奨励(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に事業を実施した。

内 容	対 象	内 訳
<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生交流員による異文化交流サロン(12/8)の主催 千葉市が実施する「外国人市民懇談会」への出席 協会事業への協力 	市内在住・在学の私費留学生(大学から推薦を受けた者)	市内4大学から各1名 千葉大学(ベトナム) 神田外語大学(韓国) 敬愛大学(中国) 東京情報大学(韓国)

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加

名 称	開 催 日	場 所	参加者 () 内外国人
第34回九都県市合同防災訓練	9月1日	蘇我スポーツ公園	28人(17人)
千葉中央ツインビル総合防火・防災訓練	9月18日	千葉中央ツインビル	21人(7人)
	3月4日	中央公園	24人(12人)

(イ) 「災害時翻訳シミュレーション訓練」の実施

内 容	開 催 日	対 象
関東地域において大規模災害が発生した場合に備え、関東地域の地域国際化協会が相互に協力し、外国人に対する支援を円滑に推進めることができるよう実施した。また、当協会職員及びボランティアが実際の災害発生時において対応できるよう実施した。	9月25日	災害時語学 ボランティアほか

(ウ)外国人のための防災教室

内 容	開 催 日	参加者 () 内外国人
日本人に比べ防災知識が十分でない外国人向けに、防災啓発及び防災意識・知識を高めることにより、実際の災害時に対応できるよう実施した。	1月23日	40人 (10人)

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、通訳や日本語学習支援、ホームステイ等のボランティアの登録・コーディネートを行った。

外国人児童生徒支援については、千葉大学 国際交流センター長新倉涼子教授の主導により市内2校をモデル校として実施した。

内 容	登 録 (件)	幹 旋 (件)
通訳	466	12
災害時語学	218	2
翻訳	342	54
ホームステイ	108	5
ホームビジット	189	28
文化紹介	164	30
日本語学習支援	696	297
学校派遣	100	0
国際交流支援	449	24
合 計	2,732	452

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

講 座	内 容	時 間 等	開 催 日	講 師	受講者
入 門	これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得	2時間×1日 ・4回	6月15日 9月13日 11月28日 3月4日	伊藤三枝子氏	67人
養 成	初級日本語学習支援に必要な知識の取得のための講座	3時間×16日 ・1回	7月30日～ 11月19日	伊藤三枝子氏	22人
実 践	具体的に日本語学習支援に役立つ考え方や手法を学ぶボランティアのための講座	2.5時間×16日 ・1回	1月7日～ 3月18日	萬浪 絵理氏	12人

(イ) やさしい日本語ガイダンス

日本語学習支援ボランティアや千葉市職員等に対して、「やさしい日本語」の有効性を知り学ぶ研修会を開催した。

内 容	開 催 日	講 師	参加者 () 内外国人
やさしい日本語についての講義及びワークショップ	12月18日	協会職員 廣田 将克	33人 (7人)

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成した。在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

内 容	助 成 団 体 数
ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	12 団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」において、事務局として支援を行った。

内 容	開 催 日	場 所	参 加 団 体	来 場 者
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2 月 9 日	きぼーる	国際交流団体 26 団体・187 人	約 600 人

オ 日本語教室ネットワーク

協会を含む市内の日本語教室 26 か所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化により利用者の利便を図った。

対 象	活 動 把 握 団 体 数
日本語教室を実施している団体	中央区：7（協会を含む） 花見川区：3 稲毛区：5 緑区：2 美浜区：9 若葉区：0 計 26 団体

カ 国際交流関係事業に係る後援等

国際性、公益性のある事業で国際交流・国際協力推進上有益であると認められた 18 事業等について後援した。

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。フェイスブック、ブログを活用し、情報の提供頻度・量の充実を図った。特に、台風や降雪時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として適宜提供した。

内 容	時 期	対 象
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供（日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語）	随時更新	市民、外国人市民等

イ 協会情報誌「ふれあい」（日本語）発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行 76～79 号(6 ページ)	6 月、9 月、12 月、3 月 (年 4 回)	各 3,000 部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区役所、日本語教室等を通して提供した。

内 容	部 数	発 行	配布先等
英語	100部/月	月1回	各区役所、日本語教室、市内大学 ホームページへの掲載等
中国語	150部/月		
やさしい日本語	100部/月		

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生促進活動やボランティア活動などについての情報提供、また市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。また、インターネットコーナーにおいてパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備 (定期購読紙 8種)	通年	国際交流プラザ情報ラウンジ
ふれあいボード(市民間情報交換用掲示板)		
情報収集用パソコン		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運營業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運營業務を受託した。

施設利用状況 開館日数 294日

	会議室	国際交流ラウンジ					合 計
		日本語学習支援	外国人相談	インターネットコーナー	多目的スペース	小 計	
件数	619	4,936	1,434	36	2,132	8,538	9,157
人数	7,688	9,958	1,174	36	2,133	13,301	20,989

イ 多言語防災ガイド製作事業

防災知識が十分でない外国人住民にとって役立つ、災害への日ごろからの備え及び災害時の避難等に関する基本的な知識やノウハウを掲載した「外国人のための防災ガイドブック」10,000部を製作した。

(2) 財団法人自治体国際化協会から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 地域の多文化共生実態把握業務

地域連携コーディネート業務のノウハウを生かし、千葉市の多文化共生社会づくりの政策形成の参考とするため、行政関係機関等との連携により、外国人市民と関わる地域の多文化共生の実態を把握した。

第3 賛助会員(平成26年3月31日現在)

外国人住民数の減少や会員の高齢化等により、前年度に比べ個人会員が減少した。一方、法人会員は、HPでの法人会員へのリンク掲載等の特典や賛助依頼に努めたことにより増加した。

区 分	合 計	内訳1(日本人・外国人)		内訳2(一般・学生)		内訳3(金額)			
		日本人	外国人	一般	学生	2,000円以上	1,000円		
個 人	524人	日本人	444人	一般	440人	2,000円以上	440人		
				学生	4人	1,000円	1人		
		外国人	80人	一般	65人	2,000円	3人	1,000円	36人
						2,000円以上	29人	1,000円	8人
				学生	15人	1,000円	8人	2,000円	7人
						2,000円	7人		
法人・団体	101団体	(10,000円以上)							